

好評発売中  
900円

新版『資本論』のすすめ

マルクスの理論的到達点がより鮮明に  
新版の特徴と魅力がこの一冊でわかる。

# コロナ拡大 客足は戻らない

旅館組合と  
意見交換

日本共産党日田市議団（大谷・日隈）は4月23日、日田旅館組合の諫山吉晴組合長ら役員とコロナ拡大の影響や要望を聞きまし  
た。真島省三前衆院議員、猿渡久子県議が同席しました。

日田旅館組合の諫山吉晴組合長は「なりわい再建補助金で屋形船は修復できたものの、コロナ拡大で客足は戻らない。さらに第4波でキャンセルが始まった」と語り

ました。今年2月の宿泊者数は、前年に比べて86%減り、3月は60%減っています（同組合の集計による）。

同組合の役員らは「ヒタノ・オン・ガ・エシキャンペーンで福岡に行く」と、隣でPCR検査キットを配っている。今は観光なのか、自粛なのか中途半端」「うちは宴会が売り上げの大部分。感染対策でアクリル板を増やし、経費だけ増えた」など、戸惑いや窮状を訴えました。

旅館組合長らは「人手を維持しておかないと、お客さんが増えたときに対応できない。企業の自助努力もあるが、雇用調整助成金がすぐ使えるようにしてほしい」など、コロナ対策を含む観光業への支援強化を求めました。

真島前衆院議員は「苦境に立たされた観光への一番の対策は補償。復旧復興を願うみなさんの声を国に届ける」と応じました。

党市議団は「1億円以上残っている国の臨時交付金を使って、アクリル板など感染対策の費用に対する補助を市に求めていきたい」と答えました。

# 天ヶ瀬温泉街復興懇談会を開催

日本共産党  
市議団

## なりわい再建補助金をもって使いやすく

日本共産党日田市議団は4月23日、第3回温泉街復興に向けた懇談会を開催。玖珠川の氾濫で今も旅館10軒の休業が続く天瀬町の被災者7人から、復旧・復興の現状、要望を聞き取りました。

休業している旅館経営者らは「銀行融資を受けるために施設や設備に多額の保険をかけている。なりわい再建補助金の対象は、受

取保険金額を差し引いた金額。銀行からの借金を保険金で返済できないまま、さらに借金しないと補助金を受けても再建できない」「テレビやエアコンなど家電製品や什器は補助の対象外。補助事業の自己負担分もあり、コロナ禍の中、借金の返済計画が立たない」「新たに旅館を建て替える場合、建築基準法で建物の裏側に擁壁が必要になる。しかし、擁壁のような防

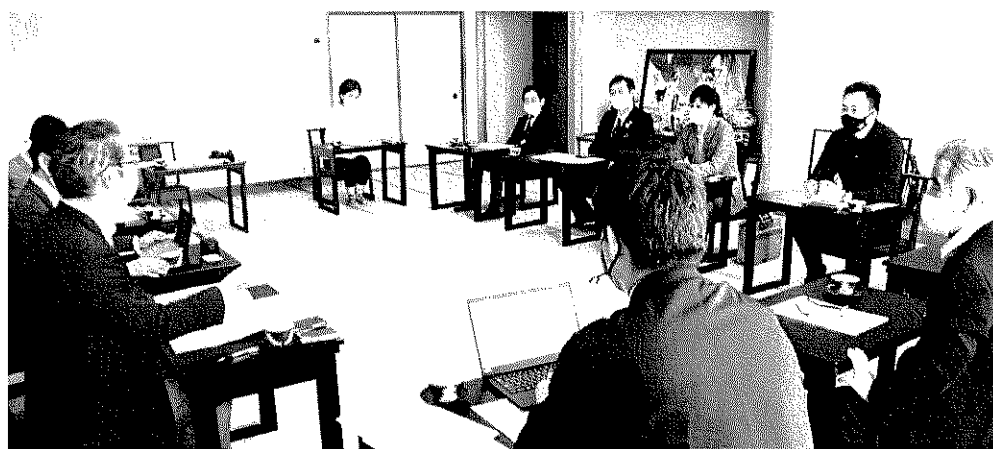
災のための新たな設備は、補助の対象外」など、なりわい再建補助金を利用する上で制限が多いと訴えました。

ある旅館女将は「補助対象や工事期間が厳しく定められ、建て直す規模を縮小せざるを得ない。思いどおりの再建ができないように追い込まれて、前向きになれない」と語りました。

真島前衆院議員は「みなさんの声が折れない支援を国、県に強く求めていく」と激励しました。党市議団は、補助金の運用改善を猿渡県議とともに申し入れます。



▲天ヶ瀬温泉街の被災者から要望を聞く猿渡県議（左奥）、日田市議（左奥から2番目）、真島前衆院議員（左奥から3番目）



▲諫山氏（右端）ら日田旅館組合の人たちと懇談する真島氏（左端手前）